



研究部だより

令和6年7月25日発行

第1号

文責：池田

夏休みまであともわずか、一学期の間も各学部では様々な学習が展開されていたかと思います。今年度の研究部では「研究部だより」を8回発行する予定です。各学部の授業実践や研修会の報告等をお伝えしていく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。今月は小学部中ブロックと高等部3学年の取り組みと小学部の雁田先生の研修報告を紹介します。

ICT を活用した授業実践①

高等部3学年 生活単元学習 単元名「私たちと社会①」題材名「校外学習」

授業者 梅沢先生・馬淵先生

対象生徒の様子

- ・地域の商業施設や交通機関を利用する学習の中で、余暇体験と昼食場所を生徒に GoogleForms のアンケートで選択させる学習を行っていました。
- ・これまでの学習で、自分のタブレット端末から classroom に進み、情報を確認することに慣れているので、GoogleForms を使ったアンケートの選択も教師が言葉掛けをしなくても一人で取り組むことができている。一人で取り組むことが難しい生徒については、近くに座っている友達が GoogleForms まで画面を開くサポートをしていた。

ICT 活用の意図

- ・ GoogleForms では、選択肢に対応する写真と文字を載せ、どの生徒も選択しやすい形式のため。

ICT 活用の成果

- ・ GoogleForms のアンケートを利用することで、文字を書くことが難しい生徒もタップすることで入力が可能になる。また、アンケートの集約も自動で瞬時にでき、すぐに確認しやすい。
- GoogleForms では、選択肢に対応する写真と文字を載せ、どの生徒も選択しやすい形式にしています。



ICT を活用した授業実践②

小学部中学年ブロック 音楽 単元名「音楽を作ろう（ガレージバンドを使ってみよう）」

授業者 林・小学部中学年教員

対象生徒の様子

- ・小学部3・4年生の学習集団。4年生は昨年度の音楽で、タブレット端末（アプリ・Garageband）を使用して自由に音楽を作る学習に取り組んでいる。
- ・3・4年生ともにタブレット端末を使うことに対する興味、意欲は高く、触りたい、使ってみたいという気持ちはあるが、使う機能はYouTubeや学習アプリ、カメラ機能など限られており、どう操作したら良いか、どんなことができるのかについてはまだあまり知識がない段階。

ICT 活用の意図

- ・音を表現したい思いがある児童はもちろん、リズムにあわせて楽器を鳴らすなどの活動がまだ難しい児童についても、音を選ぶ、つなげる、既存のリズム機能を利用するなどして表現することができる。タブレット端末（アプリ・Garageband）を使うことで、幅広い実態の児童が、「音楽作り」の活動に主体的に取り組むことができると考えたため。

ICT 活用の成果

- ・ベースの音楽に合わせて、自分でリズムを作り出したり、既存のリズム機能を利用して表現したりする様子が見られた。同じ曲を題材にしながらも、自分なりの音選びで、音楽作りに取り組む姿が見られた。
- ・アプリの機能が多岐に渡るため、まだ使いこなしている児童は少なく、教師の支援を受けながら活動する場面が多いが、音を鳴らしたり、楽器を選んだり、リズムを作ったりすることに主体的に取り組む姿が見られた。
- ・余暇時間に、興味をもって Garageband で音を鳴らしたり、音楽作りをしたりして楽しむ様子が見られた。

